



## JBCC株式会社

IBM Platinum Business Partner

所在地 » 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア 15階  
URL » <https://orenocloud.tokyo/cloudAI.html>  
お問い合わせ先 » <https://orenocloud.tokyo/contact/>  
Mail: [orenocloud@jbcc.co.jp](mailto:orenocloud@jbcc.co.jp)

### CRMからERPまで、 情報をAIで「つなぎ」活用する

JBCC株式会社(以下、JBCC)の「Cloud AI チャットボット」は情報を「つなぐ」サービスです。チャットボットと言えば、単純なFAQに対応するものを連想しますが、「Cloud AI チャットボット」は、CRMやERP、ファイルサーバーなどを繋ぎ、さまざまなデータソースをベースにして応答します。例えば、入社して間もない営業担当者がいて、取引先や自社および商材の情報に関する知識が浅いために、営業部や商品部に逐一問い合わせている場合、このチャットボットを利用すれば、まずは取引先訪問前にCRMに接続して訪問先の取引情報を確認、「ニュース」と入力してwebサイトから引用されたその企業の最新ニュースを閲覧し、十全な事前準備ができます。訪問先ではファイルサーバー上の資料にアクセスして説明に使用し、商談がまとまった時にはIBM iに接続して在庫を参照、RPA ツールに接続して見積りの作成を依頼します。この一連の操作を、全てスマートフォンのチャット上で完結することができるのです。営業担当者は外出先からあらゆる作業ができる上に、問い合わせを受けていたスタッフの業務も軽減されるでしょう。Office 365やG Suiteと連携できるプランなら、複数人のスケジュールを自動調整したり、「佐藤さんの連絡先は？」と聞けば、何人かの佐藤さんの中から最近連絡した佐藤さんを提示してくれたり——このように、FAQに対応するだけのチャットボット以上の、システム間の連携や学習機能などの付加価値を提供することが最大の特徴です。

また、GUIベースのツールで簡単に複数のシステムを連携できるため、素早く導入できることもポイントです。

### IBM iのデータを資産として活用 さらに働き方改革の風土醸成まで

これまでIBM iを利用してきた企業には、「データを溜めてはいるがビジネスに活かしていない」という共通の悩みがあります。その状況に対してJBCCは、先述のチャットボットとWatson Personal Insightを使った分析サービスを提供し、今あるデータを「資産」と捉えて活用するためのサポートを行っているのです。チャットボットを導入した企業のメリットとして、社員の意識が変わったという声も届いているといいます。

例えば、専門業務が属人化し個々人に負荷がかかっている企業にチャットボットを導入すると、「ファイルサーバーのどこにどの情報があるのか知っているのは担当者だけ」という状況から、チャットボットを教育するために、情報をいかに共有するかという考え方に変わり、そこから自分たちで業務を見直して改善しよう、新しいことをやってみようというようにボトムアップで意識改革が起こるのです。最新テクノロジーの導入は、働き方改革において困難な現場の風土醸成の可能性をも秘めています。



Outstanding Solution  
Driving Client Innovation and  
Transformation with  
IBM Power Systems



Excellent Go-To-Market  
Partner